

まちの人とともにつくる人生 100 年の学びの拠点
基本設計業務委託仕様書に関する公募型プロポーザル評価要領

1. 目的

本要領は、社会教育施設及び中頓別町義務教育学校建設・改修に伴う基本設計業務を実施する事業者を公募型プロポーザルで特定するにあたり、まちの人とともにつくる人生 100 年の学びの拠点基本設計業務公募型プロポーザル審査委員会設置要綱に定めるほか、最優秀提案者、優秀提案者を選定するための評価基準を示すものである。

2. 評価方法

- (1) まちの人とともにつくる人生 100 年の学びの拠点基本設計業務公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、本要領に基づいて一次審査及び二次審査を行う。
- (2) 審査委員会は一次審査において、各応募者の実績等について本要領に記す配点に基づき採点を行い、評価点合計の上位 5 者程度を一次審査通過者として選定する。
- (3) 審査委員会は二次審査において、プレゼンテーション及びヒアリングを経て、技術提案書等について本要領に記す配点に基づき採点を行う。

3. 最優秀提案者、優秀提案者の選定

審査委員会は、一次審査及び二次審査における各審査委員の評価点を合計し、一次審査の評価点 30%と二次審査の評価点 70%を合算した評価点により、評価点合計が高い順に最優秀提案者（受託候補者）と優秀提案者（次点者）を選定する。

なお、評価点合計が最も高い者が複数いる場合又は、評価点合計が最も高い提案と最上位と評価した委員数が最も多い提案が異なる場合、その他審査委員会が必要と認める場合は、審査委員会の合意により順位を決定する。

4. 一次審査評価基準

提出された一次審査に関わる参加表明書に記載された実績等について、次の項目を評価する。

| 評価項目 | | 評価基準 | 配点 |
|---------|--------|---------------------------------------|-----|
| 事業所の評価 | ①業務実績 | 同種業務及び同等業務の実績数に応じて評価 | 40 |
| | ②技術者数 | 技術者の保有資格に対する換算技術者数に応じて評価 | 10 |
| | 小計 | | 50 |
| 技術者の評価 | ①資格 | 各主任担当技術者の保有資格に応じて評価 | 15 |
| | ②実績・立場 | 統括責任者（主任技術者）及び各主任担当技術者の業務実績及び立場に応じて評価 | 35 |
| | 小計 | | 50 |
| 一次審査 合計 | | | 100 |

(1) 事業所の評価

①業務実績…【様式3】

| 評価項目 | 評価事項 | 評価係数 |
|------|------|------|
| 業務実績 | 同種業務 | 1.0 |
| | 同等業務 | 0.8 |

(ア) 業務内容

同種業務：国又は地方公共団体の小学校、中学校（小中一貫校を含む）、義務教育学校、図書館、社会教育施設の新築、改築又は増築（当該増築部分の床面積が 3,000 m²以上であるものに限る。）に係る延べ床面積が 3,000 m²以上の基本設計又は実施設計業務

同等業務：学校、図書館、社会教育施設等の新築、改築又は増築（当該増築部分の床面積が 2,000 m²以上であるものに限る。）に係る延べ床面積が 2,000 m²以上の基本設計又は実施設計業務

（学校等とは、平成 31 年国土交通省告示 98 号別添二第七号及び第八号に該当する建築物の用途（幼稚園及び同等業務の用途を除く。）をいう。）

(イ) 道内物件がある場合：評価係数に 1.0、無い場合に 0.7 を乗じる。

(ウ) 共同企業体がある場合：評価係数に 0.9 を乗じる。

(エ) 業務実績は、平成 14 年 4 月 1 日以降に履行完了した実績を対象とする。（施工中又は完成した施設に限る。）

(オ) 評価方法

各実績の(ア)×(イ)×(ウ)を算出し、これを加えたものを 5 件で除した値（小数点以下第 3 位を四捨五入する。）を実績評価とする。

実績が 4 件以下のものについても、加えたものを 5 件で除するものとする。

②技術者数…【様式2】

| 評価項目 | 評価事項 | 評価係数 |
|------|---------------|------|
| 技術者数 | 換算技術者数 30 人以上 | 1.0 |
| | 15 人以上～30 人未満 | 0.9 |
| | 15 人未満 | 0.8 |

換算技術者数＝ Σ （技術者数×技術者資格係数）

技術者資格係数：構造設計一級建築士及び設備設計一級建築士、技術士、一級建築士は 1.0、及び建築設備士は 0.8、二級建築士は 0.5

(2) 担当チーム（技術者）の評価

①資格（技術者資格）…【様式4】

| 役割 | 評価する技術者資格 | 評価係数 |
|-------------------|-------------|------|
| 主任担当技術者 （建築構造） | 構造設計一級建築士 | 1.0 |
| | 一級建築士 | 0.8 |
| 主任担当技術者 （電気設備） | 設備設計一級建築士 | 1.0 |
| | 一級建築士、建築設備士 | 0.8 |
| 主任担当技術者 | 設備設計一級建築士 | 1.0 |

| | | |
|--------|-------------|-----|
| (機械設備) | 一級建築士、建築設備士 | 0.8 |
|--------|-------------|-----|

②実績及び立場…【様式 5】

(ア) 業務実績

| 評価項目 | 評価事項 | | 評価係数 |
|------|------|------|------|
| 業務実績 | 実績あり | 同種業務 | 1.0 |
| | | 同等業務 | 0.8 |
| | | 類似業務 | 0.4 |
| | 実績なし | | 0.0 |

ア) 業務内容

同種業務及び同等業務については、4.(1)に同じ。

類似業務：公共建築物（国又は地方公共団体が発注者）の新築、改築又は増築（当該増築部分の床面積が2,000 m²以上であるものに限る。）に係る延べ面積2,000 m²以上の基本設計又は実施設計業務

イ) 道内物件がある場合：評価係数に1.0、無い場合に0.7を乗じる。

ウ) 共同企業体の場合：代表者は評価係数に1.0、構成員は0.7を乗じる。

エ) 協力事務所の場合：協力会社は評価係数に0.5を乗じる。

オ) 業務実績は、平成18年4月1日以降に履行完了した実績を対象とし、3件まで記載。（施工中又は完成した施設に限る。）

(イ) 携わった立場

| 携わった立場 | 統括責任者の 評価係数 | 主任担当技術者の 評価係数 |
|-------------------|----------------|------------------|
| 統括責任者又はこれに順ずる立場 | 1.0 | 1.0 |
| 主任担当技術者又はこれに順ずる立場 | 0.6 | 1.0 |
| 担当技術者の立場 | 0.2 | 0.4 |

統括責任者：契約の履行に関し、業務の管理及び統括等を行う者で、契約書の規定に基づき、受注者が定めた者をいう。

主任担当技術者：統括責任者の下で各分担業務における担当技術者を総括する役割を担う者をいう。

担当技術者：「統括責任者」「主任担当技術者」以外の技術者をいう。

(ウ) 評価方法

各実績の(ア)×(イ)を算出し、これを加えたものを3件で除した値（小数点以下第3位を四捨五入する。）を実績評価とする。

実績が2件以下のものについても、加えたものを3件で除するものとする。

5. 二次審査評価基準

一次審査通過者から提出された技術提案書等について、プレゼンテーション及びヒアリング審査を経て、次の項目を評価する。

| 評価項目 | | 評価事項 | 評価内容 | 配点 |
|------|-----------------------|--|------------------------------------|------|
| 1 | 実施体制 | ①業務の実施体制について | 本業務の遂行にあたって効果的な実施体制となっているか。 | 5 |
| | 技術力 | ②業務担当者の実績等について | 各担当者の業務実績及び人員計画その他チームの特徴については効果的か。 | 5 |
| | | 1－小計 | | 10点 |
| 2 | 特定テーマ に対する 技術提案 | テーマ①：前提条件の理解度 「中頓別町が抱える課題解決と将来像」 ・中頓別町が抱える課題や特徴を理解できているか ・中頓別町が抱える課題や特徴を理解したうえでの将来象の提案となっているか | | 20 |
| | | テーマ②：設計における提案力 「業務対象施設に関する設計方針と空間イメージ」 ・人生100年時代の学びの拠点として、住民に親しまれ、多世代が利用できかつ、独創性の高い提案となっているか。 ・コミュニティスクールを体現するような提案となっているか。 | | 30 |
| | | テーマ③：要求事項の理解度 「住民の意見や活動を空間設計に活かすアイデア」 ・住民の意見や将来の活動内容を理解したうえで、敷地環境を生かし、かつ機能性を考慮した提案となっているか。 ・主体的対話的で深い学びが展開できる提案となっているか。 | | 20 |
| | | テーマ④：住民との協働 「住民の意見や活動を空間設計に活かすアイデア」 ・ワークショップ等に参加する住民との意見交換や情報共有を十分に考慮しているか。 | | 20 |
| | | 2－小計 | | 90点 |
| 合 計 | | | | 100点 |

※算出された値は、小数点以下第3位を四捨五入し、評価点とする。

一次審査評価表

| 評価項目 | | | 評価内容 | | | | 評価係数 A | 配点 B | 評価点 A×B | |
|--------|-------|-------------------|--|---|---|-------------|-----------|---------|------------|--|
| 事務所の評価 | 業務実績 | | 様式3から業務実績を評価（5件） ①同種、同等業務の実績 ・同種業務：1.0 ・同等業務：0.8 ②共同企業体がある場合：0.9、無い場合：1.0 ※①×②÷5 | ① | ② | (①×②) ／5 | 40 | | | |
| | 技術者数 | | 様式2から換算技術者数を算出 ・換算技術者数が30人以上：1.0 ・換算技術者数が15人以上30人未満：0.9 ・換算技術者数が15人未満：0.8 | | | | | | | |
| 担当チーム | 資格 | 主任担当技術者 （建築構造） | 様式4から技術者資格評価 ・構造設計1級建築士：1.0、一級建築士：0.8 | | | | | | 5 | |
| | | 主任担当技術者 （電気設備） | 様式4から技術者資格評価 ・設備設計1級建築士：1.0、一級建築士・建築設備士：0.8 | | | | | | 5 | |
| | | 主任担当技術者 （機械設備） | 様式4から技術者資格評価 ・設備設計1級建築士：1.0、一級建築士・建築設備士：0.8 | | | | | | 5 | |
| | 実績・立場 | | 様式5から業務実績と立場を評価 （3件） | ① | ② | (①×②)／ 3 | | | | |
| | | 統括責任者 （主任技術者） | ①業務実績 ・実績あり：1.0、実績なし：0 同種：1.0、同等：0.8、類似：0.4 道内物件がある場合：1.0、 無い場合：0.7 企業体の場合：代表者 1.0/ 構成員 0.7 協力会社の場合：0.5 | | | | | 7 | | |
| | | 主任担当技術者 （建築総合） | | | | | | 7 | | |
| | | 主任担当技術者 （建築構造） | | | | | | 7 | | |
| | | 主任担当技術者 （電気設備） | | | | | | 7 | | |
| | | 主任担当技術者 （機械設備） | | | | | | 7 | | |
| | 合 計 | | | | | | | 100 | | |
| 順 位 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |